



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 223619

ゼッタールEP-2HBスマイル

- 塗料名 有機ジンクリッチペイント
- 規格 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
- 特徴
 - 弱溶剤形であるため、作業環境での臭気等が少ない。
 - 優れた犠牲防食作用を有しており、鋼材への密着性が良い。
 - 長期防錆性に優れた塗膜を形成する。

4. 塗料性状

項目	内容					
容姿	2液性					
荷姿	25 kgセット (主剤 : 23.75 kg、硬化剤 : 1.25 kg)					
色相	グレー					
密度 (23°C)	塗料	2.29				
	揮発分	0.86				
加熱残分	84%					
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	指触	90分	60分	30分	20分	10分
	半硬化	8時間	7時間	6時間	3時間	2時間
標準膜厚	30 μm					
引火点	SDS参照					
発火点	SDS参照					
爆発限界(下限~上限)	SDS参照					

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容			
素地調整*	ブラスト処理: ISO Sa2 ^{1/2} 2種ケレン (但し、塗替の場合)			
調合法	主剤 95 部、硬化剤 5 部 (重量比)			
可使時間*	5 時間以内 (20°C)			
温度・湿度制限*	気温 : 5°C 以下、湿度 : 85RH% 以上			
使用シンナー	塗料用シンナーA			
塗装方法	塗装方法*	刷毛、ローラー塗装	エアレス塗装	
	希釈率	5% 以下*	5% 以下	
	標準使用量*	240g/m ²	300g/m ² × 2 回塗り	600g/m ²
	目標膜厚*	30 μm	75 μm	75 μm
	ウェット管理膜厚	60 μm	—	150 μm
エアレス塗装条件	1 次圧 0.4~0.5MPa (4~5kg/cm ²) 2 次圧 12~15MPa (120~150kg/cm ²) チップ No. 163-521~525			
塗装間隔* (20°C)	最小	1 日		
	最大	10 日		

注) *は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。旧塗膜上に固着した粉状異物は研磨にて十分除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 希釈は塗料用シンナーAを使用すること。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 塗装終了後の使用機器は直ちに塗料用シンナーA又はラッカーシンナー等で十分に洗浄する。硬化反応が進行した塗料は塗料用シンナーでは洗浄が困難な場合があるので、その場合は、ラッカーシンナー等を洗浄に使用すること。
- 混合物の残分はゲル化してから焼却する。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。